



でいご新報 (Deigo Shinpo)



平成 26 年 7 月号 (Issue: 2014-7)



会長 (アサト逸子) 副会長 (與座敬) 第一会計 (ラッセル厚子) 第二会計 (エドワーズ留美子) 第一書記 (ベックフォードみち江) 第二書記 (與座久美子)
President (Itsuko Asato) Vice President (Takashi Yoza) 1st Treasurer (Atsuko Russell) 2nd Treasurer (Rumiko Edwards) 1st Secretary (Michie Beckford) 2nd Secretary (Kumiko Yoza)

会員の皆さん、

暑中お見舞い申し上げます。パーランクー (エイサー) の音が聞こえて来そうな季節の折り、皆様お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。今年も、皆さんと過ごした新年会、新春会に感謝しつつ、来る9月のピクニックでもお会い出来ますことを、役員一同楽しみにしています。皆さん、輝く太陽の下で、思いっきり夏を謳歌してください。そして、ご自愛の程を。執行委員会、役員一同

Dear Members,

This is the season you will hear the sounds of paranku-(eisa-) here and there on the Islands of Okinawa. We hope all is well with you. We are very thankful for the time the members came together and enjoyed the Shin Nen Kai (New Year party) and the Shin Shun kai (New Spring party). We look forward to seeing you at the Fall Picnic in September.

We hope you will have a great summer.

Best wishes,
Executive Board Officers



第一文化部長 (トリット登喜子) 第二文化部長 (キンズリー律子)
1st Bunka Bucho (Tokiko Tritt) 2nd Bunka Bucho (Ritsuko Kinsley)

ワシントンDC沖縄会の新役員の推薦について
Okinawa Kai Executive Board Member

会員の方で次期の沖縄会の執行委員を努めたい方、または、執行委員を推薦したい方がいらっしゃいましたら、www.okinawakai.orgまで連絡してください。2014年8月24日まで受け付けます。執行委員の任期は総会が開かれる月の10月から翌年の10月まで1年です。それぞれの役員がどのような働きをするのか、質問のあるかたは、下記の現役員へお尋ねください。

If you are interested in serving as a Board member, or would like to nominate (a) member(s) for (a) position(s) for the upcoming year, please contact www.okinawakai.org by **Aug 24, 2014**. The member term is for one year that begins at the Annual General Meeting in October to October the following year. If you have questions about the officer positions, you can contact the current officers:

会長 (President)- Itsuko Asato
副会長 (Vice President)- Takashi Yoza
書記 (Secretary)- Michie Beckford & Kumiko Yoza
会計 (Treasurer) - Atsuko Russell & Rumiko Edwards
文化部長 (Bunka Bucho) - Tokiko Tritt & Ritsuko Kinsley

沖縄会エイサー同好会
(Okinawa Kai Eisa Club)

今年の新春会で、7人の“みやらび”が拍手喝采(???)を浴びたエイサーグループがエイサー同好会としてスタートしました。今年は、新春会だけでなく、日本大使館主催の「パスポートDC」で、五月三日にも、沖縄のエイサーを披露しました。次のページの写真をご覧ください。かっこいい～！来年の「新春会」や「さくら祭り」への出演を目標として、月に一度ぐらいのペースでいい汗をかきませんか。中学生以上の方（女性、男性問わず）なら、誰でも大歓迎です。（因みに60歳になる会員もちばっていますよ～）一度は“ちむどんどんするエイサー”を踊ってみたい方、今がチャンスですよ。

連絡先：デナード今日子
ベックフォードみち江

Eisa group who received lots of applause at this year's Shin Shun Kai started as a club. We also performed on May 3rd at the "Passport DC" event organized by the Japan Embassy. See the pictures on the next page. (Looking cool) Our goal is performing not only at Shin Shun Kai but also at the "Sakura Festival" next year. Let's work hard and sweat together. Anyone, female or male above middle school are welcome to join. Don't miss this opportunity if you want to dance heart beating Okinawan Eisa!

Contact: www.okinawakai.org

沖縄会エイサー同好会と上地流空手の皆さん
「パスポートDC」への初参加
Okinawa Kai Eisa Club & Uechi Ryu Karate members at
“Passport DC”



5月3日に催された恒例の各国大使館のオープンハウスは通称、大使館通り（マサチューセッツ アベニュー）は、車と観客通行人で大混雑でした。日本大使館への入り口も勝るとも劣らずの状態で見物人の行列が順番待ちをしていました

日本大使館からの招待でわが沖縄会のエイサー同好会と上地流空手グループも参加しました。

大使館正面玄関広場にて太鼓の躍動、リズムカルな沖縄独特の指笛、そして人気ある沖縄空手を披露し、見物人を大いに楽しませました。最後

はご存知カチャーシーで幕。当日は太鼓の音が天を突き抜けて行くような青空に恵まれ、数日前に見舞われた豪雨で土砂崩れや浸水などで被害を被ったなど全くうそのような快適な一日でした。パフォーマーの皆様ありがとう、お疲れさまでした。



The Annual “Embassy Open House” was held on May 3, and Massachusetts Avenue (so called Embassy Row) was packed with cars and people. There was a long line of people waiting patiently in front of Japanese Embassy. Karate and Eisa groups of Okinawa Kai were invited to perform. The audience was delighted to see the powerful rhythmical taiko drumming and finger whistling. It ended with Kachashi. We would like to express a big “thank you” to the performers. It was a beautiful day and it seemed as if drum sounds were piercing through the clear blue sky. The event took place four days after the terrible rainstorms that caused flooding and mudslide.



秋のピクニック (AUTUMN PICNIC)

秋には楽しいピクニックがあります。子供も大人もいっしょに、おいしいご飯を食べながら、ゲームなどもして秋空のもとでおもいっきり楽しみましょう。この日をお見逃しなく。

In autumn, we will have a big picnic. It is time again to have fun together, eating yummy food and playing games under the beautiful autumn sky. Do not miss it!

日時：2014年9月13日（土曜日）11時～4時/September 13 (Saturday) 11:00 am – 4:00 pm

場所：Bull Run Regional Park at 7700 Bull Run Drive Centreville, VA 20121

秋のピクニック企画ミーティング (Autumn Picnic Planning Meeting)

ピクニックの企画ミーティングが8月9日（土曜日）に行われます。バーベキューの手配やゲームの内容などを話し合いますので、是非ご参加下さい。Autumn Picnic Planning Meeting will be held on August 9 (Sat.) . We need your fun ideas for games and activities. Please come to the meeting!

日時(Date & Time): August 9 (Sat.) 2014 1:30pm – 3:30 pm

場所 (Place) : Pohick Regional Library Room #1

6450 Sydenstricker Road,

Burke, VA 22015

教育基金 (Education Fund)

沖縄会は下記の資金をメンバーに支給いたします。(Okinawa Kai offer two award programs.)

1. 学業奨学資金(Academic Award)
2. 文化奨励資金(Cultural Award)

これまでに、9人のメンバーに学業奨学資金を支給。文化奨励資金に2人。文化奨励資金は初心者の方の空手、琉球舞踊、琉球音楽、日本語学校、その他のクラスやサークルへの参加奨励金（50ドル）です。子供も対象となりますので、興味のある方は下記のLisa Simmonsさんに連絡するかwww.okinawakai.orgを御覧下さい。メンバーのための資金ですので、おおいにご利用下さい。詳しい内容は、インターネットwww.okinawakai.orgをご覧ください

Nine members have been awarded the Academic Award, and two students for Cultural Award. If you or your child have/has started a class/training (Karate, Dance, Music, Japanese language school, or other classes related to Okinawan culture), please apply. If qualified, the applicant will receive \$50.00 of award. If you are interested in the award, please contact Lisa Simmons or visit the website, www.okinawakai.org, for more information. Members are encouraged to take advantage of this program.

沖縄会からの卒業祝い(Graduation Gift from Okinawa Kai)

ご卒業おめでとうございます。沖縄では、高校や大学を卒業した方に祝い金を上げる習慣があります。沖縄会でも、その習慣にならい毎年卒業生に祝い金を上げています。今年は、下記の7名の卒業生に祝い金を送りました。

Congratulations, graduates. In Okinawa we have a custom of giving graduation gift to a graduate. Following this tradition, we *have* a program to recognize achievements of the students in our Okinawa Kai. The following seven graduates have received our gifts.

Mina Imbs
Roger Yamada
Karen Hoch
Sakura Clifford

James Madison University.
Virginia Tech University.
Shippensburg University.
Virginia Tech University.

Yui Clifford
Nick Harding
Natsumi Hewitt

Mountain View High School
Amelia County High School
Howard High School

会員のニュース(Member's News)

赤ちゃん誕生(New Born Baby) : Sophie Hinano Proctor
おめでとうございます。今年5月7日にTom & Momo Proctorご夫妻に
女の子が誕生しました。最初のお子さんです。
It's a Girl! She was born on May 7, 2014.
Proud parents are Tom and Momo Proctor.



ウチナー ジュニア スタディ プログラムへの参加決定
ユイ・クリフォード

沖縄県庁主催のウチナージュニアスタディー事業へ、当会から推薦しました、ゆいクリフォードさんが参加者として選ばれました。ゆいさん、おめでとう！。

ゆいさんは、沖縄会からの7番目の参加者になります。

参加者は、13～18歳の中学生と高校生が対象で、米国から、アトランタ県人会推薦のイータン、ジャクソンさんも参加します。本年度の参加者は、海外から15名、県内16名。2週間（7月27日～8月11日）のプログラムで、ホームステイ（親族や友人の家で）を含め、県内の学生たちと合宿をしながら（6泊7日）沖縄の歴史、文化、自然などを学習します。



ウチナージュニアスタディー事業は、2001年に開催された「第3回世界のウチナーンチュ大会」のプレイベントとして実施されましたが、海外県人会等の継続要望が強かったため、現在まで毎年継続的に実施されています。また、海外からの参加者は今年で合計295名となりました。

Congratulations to Yui Clifford! Yui was accepted to the 2014 Uchina-Junior Study program sponsored by the Okinawa Prefectural Government. Yui is the seventh student from the Okinawa Kai to participate in the program.

This year there are two participants from the United States. The other student is Ethan Jackson from the Atlanta Kenjin Kai. The program will have 15 students from overseas countries and 16 local students from Okinawa. The Uchina-Junior Study program is a two week program that includes a home stay with friends or relatives and also lodging in a youth center for 6 nights and 7 days. The program is from the 27th of July until the 11th of August. The participants will study history of Okinawa, Okinawan culture, and nature of Okinawa.

The Uchina-Junior Study program was started as a pre-event program for the 3rd Worldwide Uchinanchu Festival in 2001. It is the most popular program for overseas Uchinanchu-descendants and it has been offered every year since its inception. As of this year there have been a total of 295 participants from overseas in the program. It is a well-organized educational and leadership program for young students 13~18 years old.

訃報(Obituary)

バージニア州、ニューポートニューズにお住まいの、よしこ克蘭デルさんのご主人、Ivan W. Crandell, Jrさんが、5月10日、永眠なさいました。心からお悔やみ申し上げます。

Our deepest sympathy goes to Mrs. Yoshiko Crandell who lives in Newport News, Virginia. Her husband, Mr. Ivan W. Crandell Jr, passed away on the 10th of May. Our thoughts and prayers are with Yoshiko-san and her family.

2014年度アルゼンチン ニーセーターツアーレポート（2）

「2014年度アルゼンチン ニーセーターツアーに参加して」：ナオミ・フォルタ

アルゼンチンを去ることは一番辛かった。優しいホストファミリーらとの生活、毎日2014年ニーセーターのスタッフや掛け替えのない参加者と一緒についてアルゼンチンの生活に慣れたというのに。参加者やスタッフはアルゼンチン、ボリビア、ブラジルそしてペルーなど、南米の国々から集まっていた。アメリカ代表は、カレン、ネスターフォルタ、そして私の3人であった。このような南米のイベントに米国代表として、ツアーに参加できたことを光榮に思った。



ナオミフォルタ

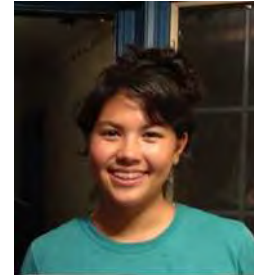
最初は、ニーセーターツアーがどのようなことをするのか理解していなかった。ニーセーターツアーと同様な沖縄でのウチナー ジュニアスタディに参加したことはあったが、スペイン語は理解できなかったし、皆と会話するのが大変だろうと緊張した。けれどもそれは間違いであった。皆あつという間に仲良く友達になった。いろいろな活動を通じて、お互い強い絆を築き上げた。大きな風船に水を入れてゲームをしたり、タンゴの踊り方を習ったり。エイサーを踊ったり、沖縄の歌を歌ったり、そして三味線の弾き方も学んだ。朝まで踊り続けたダンスパーティーもあった。とても楽しかった。すべての活動は沖縄とアルゼンチンの文化とを取り混ぜたものであった。

私はアルゼンチンの文化に触れたことがなかったのだが、とても楽しくて貴重な体験であった。参加者を通じて別の南米の文化にも触れることができた。そこは様々な文化の大垣場になり、皆それぞれが自分の文化を教え合った。ニーセーターツアーでは、それぞれがホストファミリーの家庭で沖縄の歴史、方言、文化を学んだ。活動の一つに沖縄のおじいちゃんや、おばあちゃんがどのような戦争体験をし、戦後を潜り抜けたのかを学んだ。その中で、“時を超えて”という歌を習った。それはおじいちゃんやおばあちゃんが第二次世界大戦を経験したことを綴り、どのようなことがあっても笑いを忘れないこと、いつも家族を愛すること、そして次の世代へ人生の大切さ、“命は宝”であることを教えた。皆で合唱し、歌詞をじっくり考えたときに涙が流れた。それはおじいちゃんやおばあちゃんが、どれほど私たちを愛し、次世代の人たちがより優れた生活を送ることを望んでいることに気づいたからであった。この歌は、このツアーの中でもっとも深く私の心を揺さぶり、ニーセーターグループとのより強いつながりをもたらした。

ニーセーターの開会式で思いもよらなかったことだが、ニーセーターの参加者が単なる友人ではなく家族になった。スタッフの皆さんは、アルゼンチンと沖縄の文化を教え、私たちを一つにまとめてくれ、素晴らしい任務をやり遂げた。彼らは自分らがニーセーターに参加して、味わった感動を私たちにも感じて欲しかったのだろう。ツアーの日々は、あつという間にすぎた。そしてこんなに早く閉会式の日を迎えようとは信じられなかった。この日、私は新しい兄弟、姉妹を残してアメリカへは帰りたくないと思ったのを覚えている。世界中の人を一つに結ぶ、沖縄文化の強さに感嘆した。言葉が違って、どこに住んでいようが、沖縄の文化は人を強く結びつけるのだと感じた。そして改めて私は沖縄人であることを誇り、学んだすべてをアメリカに持ち帰るつもりである。このツアーで学んだ沖縄の人々の愛と文化をワシントンDC沖縄県人会の若者たちにも広めていきたい。2014年アルゼンチンニーセーターツアーの参加者を忘れはしません。

Niseta Tour 2014 in Buenos Aires, Argentina (2) by Naomi Folta

Leaving Argentina was one of the most difficult things to do. I became so accustomed to the Argentinian culture, living with my loving host family, and being around the irreplaceable participants and staff of Niseta 2014 every day. The participants and staff were from countries all over South America: Argentina, Bolivia, Brazil, and Peru. There were three participants who represented the United States: Karen, Nestor Folta, and myself. It was an honor to be selected to participate in the tour and represent the United States in this South American event.



Naomi Folta

In the beginning, I did not know what to expect from Niseta. I had already been a participant of Uchina Junior Study Tour, which was a study tour similar to Niseta but held in Okinawa. I was also very nervous because I did not know any Spanish and I thought I was going to have trouble communicating with everyone. However, I was wrong! Everybody quickly became friends. We did so many activities that created unbreakable bonds between each other. We had a huge water balloon fight; we learned how to dance the tango, danced eisa, sang Okinawan music and learned to play the sanshin. We even had a big dance party where we danced until early in the morning. It was so fun. All the activities we did were both Okinawan and Argentinian. I have never been exposed to the Argentinian culture so it was a very fun and interesting experience for me. I was also exposed to the other South American countries through all the participants. It was a big culture pool and everyone taught each other a little bit about what they do in their culture.

In Niseta, we learned a lot about Okinawan history, Okinawa hogen, and the Okinawan culture in everyone's household. There was one activity where we learned about what happened when Okinawa ojiiichan and obaachans were in the war, and how far they have come after the war. In that activity, we learned a song called "Toki wo Koe," a touching song on the experiences of our ojii and obaa in the WWII and how they kept a smile no matter what happened, loved their family members, and how they taught the younger generations to cherish life because "life is a treasure." When everyone sang the song together and reflected over the song lyrics, it brought tears to my eyes because it reminded me of how much our ojii and obaa love us and want the future generations to have a better life. This was one of the most touching moments I had in Niseta, and I felt more united with the Niseta group. Never did I think during the opening ceremony of Niseta, that I would be not friends, but family with the Niseta participants. The staff did an amazing job trying to unite us and help us learn the Okinawan and Argentinian culture. They wanted us to feel what they felt when they participated in Niseta. The days of Niseta flew by so fast. I couldn't believe it when it was the day of the closing ceremony. I just remembered that I did not want to go home to America and leave my new brothers and sisters. I was amazed at how strong the Uchina culture is, to unite people from all over the world. It did not matter what language you spoke or where you live, the Uchina culture has an unbelievably strong bond that unifies us all. I am proud to be Okinawan and plan to bring back everything I learned to America. I want to help spread the Uchina love/culture that I received in this tour to all the youth in Washington, DC Okinawa Kai. I will never forget all the people who were a part of Niseta 2014 in Argentina.

ボリビア沖縄移民入植60周年記念の期日と連絡先の情報

1954年、米軍統治政府と琉球政府の主導により沖縄からボリビアへの第一・集団開拓移民の401人が到着してから今年で60周年を迎えます。原因不明の熱病や重なるリオ・グランデ川の氾濫などで多くの犠牲者をだし、大変な苦難を乗り越えてきたボリビアの沖縄農業移民ですが、苦勞のかいあって今では大農場経営で成功し、入植地も政府から正式に「オキナワ村」という行政区に指定されるようにまできました。

オキナワ・ボリビア協会では「入植60周年記念祭式典」や祝賀会を、毎年、お盆の時期に行われている「豊年祭」と共に慰霊祭、8月16日、17日に2日間に渡ってボリビアのサンタクルス市・近郊で開催を予定しております。参加されたい方ご質問などある方は担当のアキコ・カカジまでご連絡ください。

今年の行事予定

2014年7月27日（日）オキナワ大運動会

2014年8月15日（金）ゴルフ大会 サンタクルス市にて
ゲートボール大会 オキナワ移住地

2014年8月16日（土）豊年祭 第1地域

2014年8月17日（日）慰霊祭、式典、祝賀会

Some of you would still remember when our choodee (brothers and sisters) started to migrated to Bolivia cultivate farms and establish Okinawan community in the post WW2 Era. The systematic migration initiated by the US Military Government and Ryukyu Government started back in 1954 and it continued till 1964.

It has been almost 60 years since the first group of 401 Okinawan arrived in the jungle of Bolivia, and the total of 3298 Okinawans migrated in the 10 years period.

Okinawa Bolivia Association will be holding 60th Anniversary events along with their annual Harvest Festival on August 16 and 17. If you are interested in attending the event or have any questions, please contact Akko Cacaji.

「でいご新報」はワシントンD.C.沖縄会の会報です。(Deigo Shinpo is the newsletter of the Okinawa Kai of Washington D.C.)

編集スタッフ：トリット登喜子、アサト逸子、印刷・郵送：ベックフォードみち江, 與座久美子
Staff: Tokiko Tritt & Itsuko Asato Printing & Mailing: Michie Beckford & Kumiko Yoza